

あっ！浜名湖花博 2024 にデジタルものづくりセンター！

【キーワード】 デジタルものづくり、X線CT、金属3Dプリンタ、浜名湖花博 2024

【はじめに】

デジタルものづくりセンター（浜松工業技術支援センター内）では、県内企業のデジタル技術のボトムアップを図るため、企画、設計から成形・加工、計測・評価まで一貫したデジタルものづくりを支援しています。

その中の設備であるX線CTと3Dプリンタを活用することで、自然界にある花や植物のように単純な平面や曲面でない複雑な形や内部構造をデータ化し、造形することが可能です。具体的にどのようなものを作ることができるのか、身近なものを例に御紹介します。

【金属3Dプリンタによる造形例】

今回は複雑な形状の例として、バラの花をデータ化、造形しました。まず、実物のバラをX線CTで計測し、形状データを作成、その形状データを元に金属3Dプリンタで造形しました。バラの花弁のような薄く、数式では表せない複雑な曲面を持ち、多層に折り重なる形状を金属3Dプリンタで造形できることが確認できました。

今回造形したバラに加え、さらに細かいガーベラ等の造形物を5月2日から6月2日まで浜名湖花博 2024 のガーデンパーク 体験学習館 2階で展示します。また、浜名湖花博のデジタルWEEK（5月20日から26日まで）では、同会場 体験交流広場大型テント内にて、IoTツールを使った体験コーナーも開設します。ぜひ御来場ください。

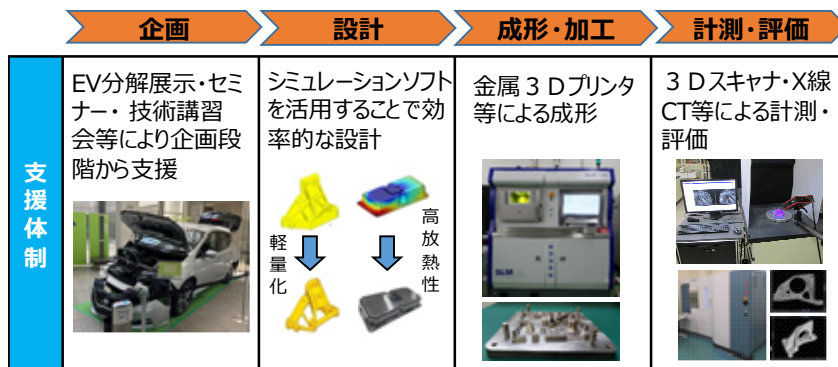


図1 デジタルものづくりセンター支援体制



図2 バラの造形（左：実物、中：断面図（X線CT撮影）、右：造形物）

お問い合わせ先 浜松工業技術支援センター
機械電子科
電話 053-428-4155